

平成19年度 当初予算

～魅力ある元気なまちづくり～

一般会計予算 38億3,300万円



皆野町長 石木戸道也

予算編成にあたって

地方財政の状況は、少子高齢化などによる社会保障経費の増加や地方交付税の減額など厳しい状況が続いています。

平成19年度予算では、町税をはじめとする財源の確保に努め、「リフレッシュプラン05」に基づく行財政改革を着実に実施し、限られた財源のなかで福祉の向上を図ってまいります。

予算編成にあたっては、皆野中学校校舎改築事業をはじめ、子育て支援の充実、健康長寿対策、生活環境の整備、安全・安心なまちづくりなどを重点施策といたしました。これらの施策を実施するにあたり、まず町職員意識改革による資質向上を図るとともに、町民の皆さまと協働して取り組むことにより「魅力ある元気なまちづくり」を進めてまいります。

歳入

自主財源は全体の46・6%

自主財源（町が自主的に収入できるお金）の総額は17億8,773万円（前年度比17・1%増）で全体の46・6%を占めています。

自主財源のトップは町税の11億7,483万円（前年度比10・2%増）で税制改正に伴う所得税から個人住民税への税源移譲などにより増加しています。

基金（町の貯金）からの繰入金金は3億3,472万円（前年度比76・2%増）で、財政調整基金から1億3,000万円、皆野中学校校舎改築事業の財

源として公共施設整備基金から1億6,723万円を繰り入れます。

依存財源（国や県から交付されるお金や町の借入金など）の総額は20億4,527万円（前年度比37%増）で、全体の53・4%を占めています。

依存財源のトップは地方交付税の10億6,000万円（前年度比36%減）です。地方交付税は町が標準的な行政を行なうために財政状況に応じて国から交付されるものですが、「三位一体の改革」に伴う地方交付税改革により交付額は年々減少しています。

町債（町の借入金）は3億6,116万円（前年度比26・7%増）で、主なものは皆野中学校校舎改築事業に対する安全・安心な学校づくり交付金8,713万円です。

()内は対前年度比

自主財源 46.6%	町税	11億7,483万円(+10.2%)
	繰入金	3億3,472万円(+76.2%)
	使用料及び手数料	9,215万円(+7.2%)
	分担金及び負担金	7,937万円(-4.7%)
	その他	1億666万円(+4.9%)
依存財源 53.4%	地方交付税	10億6,000万円(-3.6%)
	町債	3億6,116万円(+51.8%)
	国庫支出金	2億2,262万円(+22.6%)
	県支出金	1億8,116万円(+26.7%)
	地方消費税交付金	1億円(+11.1%)
	地方贈与税	5,100万円(-62.9%)
	その他	6,869万円(-16.9%)

180万円（前年度比51・8%増）で、皆野中学校校舎改築事業の財源として1億5,680万円、町道改良事業の財源として4,500万円を借り入れます。

国庫支出金は2億2,262万円（前年度比22・6%増）で、主なものは皆野中学校校舎改築事業に対する安全・安心な学校づくり交付金8,713万円です。

県支出金は1億8,116万円（前年度比26・7%増）で、主なものは参議院議員・県知事・県議会議員選挙執行に係る交付金です。